

# 水俣病に近く最終結論

## 阿賀野川と同時に

### 園田厚相 本社記者に言明



園田 厚相

園田厚相は十五日、院内大臣室で「また政府の最終結論が出ていない水俣病の原因については阿賀野川水銀中毒事件と同時に、私が責任をもって最終結論を出す」と語った。本社東京支社中西編集部長の、今後の公害行政についての質問に対し答えたもので、もし結論が出れば水俣病発生から五年ぶりのことなる。

さき、富山県のイタイイタイ病について「明らかに公害であり、加害者は三井金属神岡鉱業所である」との最終結論を出し、人命尊重に立脚した積極的な公害行政の推進を示した同相が、再び懸案と

なっている水俣病の原因について、近く最終結論を出すことを示唆したものと注目される。同相のおもな答え次の通り。

一、水俣病の原因について政府の最終結論が出ていないのは残念だ。当時、熊大や厚生省食品衛生調査会は「原因は有機水銀」との結論を出している。しかしその後ウヤムヤになったまま政府の結論は出ていない。当時、適切な措置があったならば第二の水俣病は防

げたはずだ。

一、阿賀野川水銀中毒事件について「汚染源は断定困難」として科学技術庁の政府見解原案には、厚生省として承服できないと強く申し入れている。人の生命と健康を守るには厚生省の役目だ。企業繁栄のために人間生活がそこなわれてはならない。企業も国民とともに繁栄しなければならぬ。水俣病については私が責任をもって結論を出す。阿賀野川の最終結論を出すとき、水俣病の結論も出す。

汚染防止、騒音規制の両法案は今国会で成立する。水質基準についてもできるだけ早く成案を得たい。もっとも重要な紛争処理および被害救済法は次の国会でぜひ成立を図りたい。そして公正取引委員会のような政府だけでなく、民間会のような政府だけなく、このからも干渉を受けない委員会をつくり、公害紛争が生じた場合、最終結論が出るのを待つことなど、ここで目安で補償金を出すなどして処理していく。これには基金を設け、国の負担分として五億円を準備する。【関連記事3面】